

60 宇都宮宿 ~ 徳次郎宿

栃木県宇都宮市
戸祭 ~ 野沢

(歩行距離 1875m 25分)

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaido.jp/
JZE00512@nifty.ne.jp

神社の種類

稲荷神社 (約19800社)
祭神は稲荷神で、稲荷神は穀物・農業・商売の神として信仰され、商店内、企業のビルの屋上、工場の敷地内などにも祀られている。総社は京都の伏見稲荷大社。

八幡神社 (八幡社・八幡宮) (約14800社)
祭神は八幡神で、応神天皇を神格化したもので、農耕神あるいは海の神とされる。総社は大部分の手佐神宮で、鶴岡八幡宮や岩清水八幡宮が有名。

天神社 (天満宮) (約10300社)
祭神は菅原道真で、政治的不遇を被った道真の怒りを静めるために神格化し祀られ、天神とも呼ばれている。道真が優れた学者だったので天神は「学問の神様」として信仰されている。大宰府天満宮や北野天満宮が有名。

諏訪神社 (約5700社)
長野県の諏訪湖の両岸にある諏訪大社より祭神の勧請を受けた神社で、諏訪大社の祭神は諏訪大神ともいわれる建御名方神 (タケミナカタノミコト) とその妃である八坂刀売神 (ヤサカトメノミコト)。諏訪信仰は雨や風を司る電神や、水や風に直接関係のある農業の守護神、また水が海の守り神などとして信仰されている。

神明神社 (約5400社)
天照大神を主祭神とし、伊勢神宮内宮を総本社とする。伊勢信仰は伊勢の神宮に対する主として庶民の信仰をいい、元は祭神の天照大神が皇室の祖神とされているため、農耕儀礼と密接に結びつき広く信仰を集めてきた。

熊野神社 (約3300社)
熊野三山 (熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社) より熊野権現の勧請を受けた神社で、同名または熊野社など類似名の神社が全国にある。

春日神社 (約3100社)
春日大社から勧請を受けた神社で、祭神は春日神で、天児屋根命 (アメノコヤネノミコト)、武甕槌命 (タケミカヅチオ)、経津主命 (フツヌシノカミ)、比売神 (ヒメノカミ) の四柱の神が本体となっていて、奈良・平城京に遷都された710年 (和銅3年)、藤原不比等が藤原氏の氏神である鹿島神 (武甕槌命) を春日の御蓋山に遷して祀り、春日神と称したのに始まる。

八坂神社 (約2900社)
素戔嗚尊命 (スサノオノミコト) を祭神とする。総本社は京都の八坂神社。平安時代の始め頃に都で流行した疫病による大災厄の発生を政治的に失脚して処刑された人の怨みによる祟りであろうと当時の人々は考え、最初はその御霊を祭りましたが、怒りは治まらなかつたため、より強い神仏が求められたことが、日本神話でヤマタノオロチ (八岐大蛇=あらゆる災厄) を退治し、クシナダヒメノミコトを救って、地上に幸いをもたらしたとされる素戔嗚尊命を祭ったとされている。

白山神社 (約2700社)
富士山、立山とともに三霊山と呼ばれる白山の神を祀る神社で、石川県白山市の白山比咩神社を総本社としている。祭神は菊理媛神 (ククリヒメノカミ) (白山比咩神)・伊弉諾尊 (イザナギ)・伊弉冉尊 (イザナミ) の三柱としているものが多くある。白山神社は全国にあるが、特に岐阜県・石川県・新潟県・静岡県に多く分布。

住吉神社 (約2100社)
住吉三神を祀る神社で、祭神の住吉三神は底筒男命 (ソコツツノオノミコト)、中筒男命 (ナカツツノオノミコト)、表筒男命 (ウツツノオノミコト) の総称です。海の神、航海の神とされている。

日吉神社 (山王神社・日枝神社) (約2000社)
山王信仰に基づいて日吉大社より勧請を受けた神社で、大山咋神 (オオヤマクイノカミ) と大物主神 (または大国主神) を祭神とする。「山王」とは、霊山を守護する神霊のごことで、ここでは比叡山の地主神である大山咋神のことを指す。また、平安京遷都により、当社が京の鬼門に当たることから、鬼門除け・災難除けの社として崇敬されるようになった。

金毘羅神社 (約1900社)
香川県琴平町の金刀比羅宮を総本社とし、祭神として大物主神を祀る神社で全国にある。金刀比羅宮は、元はその鎮座する象頭山の神を祀るものであった。古くから象頭山は瀬戸内海の航行の目印とされてきたことから、象頭山の神は航海安全の神として信仰されるようになった。また、航海安全だけでなく、祈雨の神として農民からも信仰されてきた。

恵比寿神社 (蛭子神社) (約1500社)
えびすじんじゃ、ひるごじんじゃはヒルコ或いはえびす或いは事代主命 (コトシロヌシノミコト) を祭神とする神社。「恵比寿神」とは元々、海の神で、海岸に流れ着いた見慣れないものを「えびす」と呼んで、それを海に神からの贈り物としてまつる習慣から起こった。ここから、豊漁、ひいては商売繁盛の神として現在に至る。祭神がイザナギとイザナミの子であるヒルコや大國主命の子である事代主命であるのは日本神話が成立する過程で恵比寿神と結び付けられるようになった。なお、以上の神社の他に、偉人を祭った神社 (乃木神社など) や戦没者を祭った神社 (靖国神社、護国神社など) のような形態の神社も数多くある。

大谷寺
大谷石で有名な大谷寺は119号線を約5kmほど行った所にある。石屋敷には平安初期の磨崖仏があり、特別史跡・重要文化財に指定されている。正面の多気山には11世紀の多気城があり、天正10年 (1582) 武田氏滅亡後、北条氏の下野進出が本格化し、南方から数千を超える大軍襲来が予想されたため、宇都宮氏は平城の宇都宮城ではなく山城の多気城で迎え撃つことになった。天正13年七月と天正14年五月を中心に何度も度々攻められ、これが「大谷川の戦い」である。北条氏照の指揮下で、小山秀綱が攻め、佐竹義重が後詰になったが、三郭に辿り着くのがやっとであった。宇都宮氏も北条軍に対する防戦が精一杯で、ときの関白・豊臣秀吉にすがり、天正18年小田原征伐の展開になる。郭、空堀などが山全体に迷路のように造られている。



28 上戸祭一里塚
日本橋から28里の一里塚で、昭和58年 (1983) に修復整備された。西側の塚には檜が植えられているが、東の塚は半壊している。



昭和26年 (1951) と同30年 (1955) に植林された檜・杉に混じって山桜、ツツジ、楓 (かえで) などのトンネルが続く。



高尾神社
高尾神社 狛犬16体が左手にあり、「高地蔵大菩薩供養塔」「妙吉安産子育高地蔵尊」が境内にある。古い石塔に「至徳四 (1387) 丁卯八月 日」「聖金剛佛子妙言貞禪」。
ほかに水波乃女命の水神社、素戔嗚命の八坂神社、大山祇命の湯殿神社がある。本殿は流造垂鉛葺。妙吉塚は直径12m、高さ3mの円墳状で、塚の上に宝篋印塔がある。

ここから街道は桜並木になっていく。
さくら・国道4号へ長岡百穴古墳へ約2km 大谷寺約5km

上戸祭の道標
「国道119号 日光街道 日光32km 宇都宮市上戸祭」の標識の所から桜並木に入る。中央に車道、両脇に桜並木、その外側に一段と高く歩道がある。ここからが桜並木街道が東照宮まで続く。

上戸祭町
丸亀製麺
古民家にしだれ桜
COCOS
うさぎや TSUTAYA
スターバックス
オフハウス
カワチ薬品
レドバロン
高尾神社
福田循環器科内科
上戸祭2
カワチ薬品